



2025年6月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2025年2月12日

上場会社名 澁谷工業株式会社

上場取引所 東名

コード番号 6340 URL <https://www.shibuya.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澁谷 英利

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 河村 孝志

TEL 076-262-1201

半期報告書提出予定日 2025年2月13日

配当支払開始予定日

2025年3月18日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年7月1日～2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期中間期	62,508	21.6	7,373	51.0	7,384	53.1	5,100	49.6
2024年6月期中間期	51,393	17.8	4,882	84.0	4,823	84.2	3,409	69.7

(注) 包括利益 2025年6月期中間期 5,468百万円 (61.5%) 2024年6月期中間期 3,385百万円 (63.4%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期中間期	184.36	
2024年6月期中間期	123.23	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年6月期中間期	160,514	104,836	65.3	3,788.99
2024年6月期	161,903	101,029	62.4	3,651.38

(参考) 自己資本 2025年6月期中間期 104,827百万円 2024年6月期 101,021百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期		30.00		60.00	90.00
2025年6月期		45.00			
2025年6月期(予想)				45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年6月期の連結業績予想(2024年7月1日～2025年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	127,000	10.0	12,600	5.8	12,800	5.6	9,200	5.9	332.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年6月期中間期	28,149,877 株	2024年6月期	28,149,877 株
期末自己株式数	2025年6月期中間期	483,421 株	2024年6月期	483,078 株
期中平均株式数(中間期)	2025年6月期中間期	27,666,565 株	2024年6月期中間期	27,667,022 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。よって、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
3. その他	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の増加や個人消費・設備投資の持ち直しなどにより国内景気は緩やかな回復が見られるものの、構造的な人手不足を背景とした人件費の上昇や原材料価格・エネルギーコストの高騰、米中貿易摩擦再燃の懸念など、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

このような状況のなか、当社グループの当中間連結会計期間の売上高は625億8百万円(前年同期比21.6%増)、営業利益は73億73百万円(前年同期比51.0%増)、経常利益は73億84百万円(前年同期比53.1%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は51億円(前年同期比49.6%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[セグメント別の売上高]

(単位:百万円)

セグメントの名称	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	対前年同期比
			%
パッケージングプラント事業	28,417	36,041	+26.8
(酒類用プラント)	(1,327)	(1,346)	(+1.4)
(食品用プラント)	(21,121)	(27,531)	(+30.3)
(薬品・化粧品用プラント)	(4,771)	(6,162)	(+29.2)
(その他)	(1,196)	(1,000)	(△16.4)
メカトロシステム事業	16,377	20,310	+24.0
農業用設備事業	6,598	6,155	△6.7
合 計	51,393	62,508	+21.6

(パッケージングプラント事業)

パッケージングプラント事業の売上高は、食品用プラントは調味料用充填ラインが減少したものの、国内および海外向け飲料用無菌充填ラインが増加し、また薬品・化粧品用プラントは注射薬バイアル充填ラインや化粧品充填ラインが増加したことから、前年同期に比べ増加しました。

その結果、売上高は360億41百万円(前年同期比26.8%増)となり、損益面については、売上高の増加に伴い操業度が向上したことから、営業利益は61億23百万円(前年同期比53.8%増)となりました。

(メカトロシステム事業)

メカトロシステム事業の売上高は、半導体製造システムはタイ向けのLED用ボンダーおよび検査装置が増加し、医療機器は北米や東南アジアなど海外向けが好調で大きく増加したことから、前年同期に比べ増加しました。

その結果、売上高は203億10百万円(前年同期比24.0%増)となり、損益面については、売上高の増加に伴い操業度が向上したことから、営業利益は15億10百万円(前年同期比40.7%増)となりました。

(農業用設備事業)

農業用設備事業の売上高は、柑橘類向けおよび落葉果樹類向け選果選別プラントが増加したものの、野菜類向け選果選別プラントが減少したことにより、前年同期に比べ減少しました。

その結果、売上高は61億55百万円(前年同期比6.7%減)となりましたが、損益面については、他のセグメントへの内部売上高が増加したことから、操業度が維持され、営業利益は8億69百万円(前年同期比0.4%減)と微減に留まりました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ13億89百万円減少し、1,605億14百万円となりました。有利子負債については、前連結会計年度末に比べ4億53百万円減少し、41億50百万円となりました。純資産については、前連結会計年度末に比べ38億6百万円増加し1,048億36百万円となり、自己資本比率は65.3%となりました。

② キャッシュ・フローの状況に関する分析

当中間連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況については次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、1億56百万円の資金増加（前年同期は51億69百万円の資金増加）となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益が74億21百万円となり、契約負債の減少額21億61百万円、棚卸資産の増加額25億35百万円、仕入債務の減少額10億14百万円、未払金及び未払費用の減少額19億23百万円および法人税等の支払額30億72百万円による資金減少があったものの、非資金項目である減価償却費14億36百万円、売上債権及び契約資産の減少額14億29百万円による資金増加があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、35億62百万円の資金減少（前年同期は8億72百万円の資金減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出35億23百万円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、21億14百万円の資金減少（前年同期は17億35百万円の資金減少）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出4億53百万円および配当金の支払額16億57百万円があったことによるものであります。

これらの結果、当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より55億72百万円減少し413億22百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月9日付で公表した連結業績予想の内容に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	47,196	41,621
受取手形、売掛金及び契約資産	33,077	30,572
電子記録債権	12,802	13,851
製品	362	402
仕掛品	10,115	12,088
原材料及び貯蔵品	5,271	5,842
その他	3,866	4,028
貸倒引当金	△22	△21
流動資産合計	112,668	108,386
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,001	19,405
機械装置及び運搬具(純額)	2,639	2,622
土地	13,229	14,240
建設仮勘定	2,538	4,280
その他(純額)	1,434	1,508
有形固定資産合計	39,843	42,058
無形固定資産		
その他	551	558
無形固定資産合計	551	558
投資その他の資産		
投資有価証券	3,087	3,805
退職給付に係る資産	5,176	5,230
繰延税金資産	126	11
その他	479	482
貸倒引当金	△30	△19
投資その他の資産合計	8,840	9,511
固定資産合計	49,234	52,127
資産合計	161,903	160,514

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,817	17,106
電子記録債務	3,311	2,980
短期借入金	907	907
未払法人税等	3,294	2,482
未払費用	5,993	4,139
契約負債	18,181	15,991
賞与引当金	459	487
受注損失引当金	61	48
製品保証引当金	49	49
災害損失引当金	116	—
その他	1,225	2,220
流動負債合計	51,418	46,414
固定負債		
長期借入金	3,696	3,243
退職給付に係る負債	5,516	5,690
役員退職慰労引当金	166	169
繰延税金負債	11	97
その他	63	63
固定負債合計	9,455	9,263
負債合計	60,873	55,678
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,392	11,392
資本剰余金	10,350	10,350
利益剰余金	75,296	78,736
自己株式	△441	△442
株主資本合計	96,597	100,037
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,090	1,577
為替換算調整勘定	1,299	1,219
退職給付に係る調整累計額	2,034	1,993
その他の包括利益累計額合計	4,424	4,790
非支配株主持分	7	8
純資産合計	101,029	104,836
負債純資産合計	161,903	160,514

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
売上高	51,393	62,508
売上原価	41,238	49,691
売上総利益	10,154	12,816
販売費及び一般管理費	5,272	5,443
営業利益	4,882	7,373
営業外収益		
受取利息	13	8
受取配当金	28	32
スクラップ売却益	25	23
その他	40	43
営業外収益合計	107	107
営業外費用		
支払利息	18	15
為替差損	123	69
その他	22	11
営業外費用合計	165	96
経常利益	4,823	7,384
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	18	—
負ののれん発生益	16	—
補助金収入	—	25
貸倒引当金戻入額	—	8
災害損失引当金戻入額	—	2
特別利益合計	35	36
特別損失		
固定資産売却損	8	0
固定資産処分損	5	0
特別損失合計	14	0
税金等調整前中間純利益	4,844	7,421
法人税、住民税及び事業税	1,524	2,308
法人税等調整額	△89	11
法人税等合計	1,434	2,319
中間純利益	3,410	5,101
非支配株主に帰属する中間純利益	0	0
親会社株主に帰属する中間純利益	3,409	5,100

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
中間純利益	3,410	5,101
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14	486
為替換算調整勘定	△77	△79
退職給付に係る調整額	38	△40
その他の包括利益合計	△24	367
中間包括利益	3,385	5,468
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	3,384	5,467
非支配株主に係る中間包括利益	0	1

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	4,844	7,421
減価償却費	1,435	1,436
負ののれん発生益	△16	—
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△188	△88
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	302	124
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△154	3
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	△11
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3	28
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△45	△13
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△116
受取利息及び受取配当金	△41	△41
支払利息	18	15
補助金収入	—	△25
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△2,252	1,429
契約負債の増減額 (△は減少)	4,101	△2,161
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,616	△2,535
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,136	△1,014
前渡金の増減額 (△は増加)	△517	△730
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△1,848	△1,923
未払又は未収消費税等の増減額	△1,160	933
その他	497	472
小計	5,498	3,203
利息及び配当金の受取額	41	41
利息の支払額	△19	△16
法人税等の支払額	△351	△3,072
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,169	156
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△224	△227
定期預金の払戻による収入	224	227
投資有価証券の取得による支出	△101	△0
投資有価証券の売却による収入	27	—
有形固定資産の取得による支出	△546	△3,523
有形固定資産の売却による収入	9	1
無形固定資産の取得による支出	△65	△68
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△269	—
補助金の受取額	—	25
その他	73	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△872	△3,562
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△621	△453
配当金の支払額	△1,105	△1,657
その他	△8	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,735	△2,114
現金及び現金同等物に係る換算差額	△58	△51
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,503	△5,572
現金及び現金同等物の期首残高	42,660	46,894
現金及び現金同等物の中間期末残高	45,163	41,322

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（会計方針の変更に関する注記）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20－3項ただし書きに定める経過的な取扱いおよび「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65－2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年中間期および前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表および連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結会計期間の中間連結財務諸表および前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	パッケージ ングプラ ント事業	メカトロ システム 事業	農業用設備 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,417	16,377	6,598	51,393	—	51,393
セグメント間の内部売上高 又は振替高	575	401	163	1,139	△1,139	—
計	28,993	16,778	6,761	52,533	△1,139	51,393
セグメント利益	3,982	1,073	873	5,929	△1,046	4,882

- (注) 1. セグメント利益の調整額△1,046百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,014百万円および棚卸資産等の調整額△32百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	パッケージ ングプラ ント事業	メカトロ システム 事業	農業用設備 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	36,041	20,310	6,155	62,508	—	62,508
セグメント間の内部売上高 又は振替高	691	606	501	1,798	△1,798	—
計	36,732	20,917	6,656	64,306	△1,798	62,508
セグメント利益	6,123	1,510	869	8,503	△1,130	7,373

- (注) 1. セグメント利益の調整額△1,130百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,101百万円および棚卸資産等の調整額△28百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

3. その他

受注の状況

① セグメント別の受注高

(単位：百万円)

セグメントの名称	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)	前年同期比
			%
パッケージングプラント事業	44,173	33,540	△24.1
(酒類用プラント)	(2,008)	(1,728)	(△13.9)
(食品用プラント)	(34,934)	(22,131)	(△36.6)
(薬品・化粧品用プラント)	(6,354)	(7,648)	(+20.4)
(その他)	(876)	(2,031)	(+131.8)
メカトロシステム事業	17,752	19,109	+7.6
農業用設備事業	3,627	3,642	+0.4
合 計	65,553	56,292	△14.1

② セグメント別の受注残高

(単位：百万円)

セグメントの名称	前中間連結会計期間 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年12月31日)	前年同期比
			%
パッケージングプラント事業	78,649	77,155	△1.9
(酒類用プラント)	(2,557)	(3,037)	(+18.7)
(食品用プラント)	(55,399)	(49,656)	(△10.4)
(薬品・化粧品用プラント)	(19,947)	(22,638)	(+13.5)
(その他)	(744)	(1,823)	(+144.9)
メカトロシステム事業	11,005	11,272	+2.4
農業用設備事業	8,655	7,186	△17.0
合 計	98,310	95,614	△2.7